

ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、平素より協会事業の推進に、ご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

令和5年度がスタートし、看護の現場は、大変お忙しい日々をお過ごしのことと思います。

新型コロナウイルス感染症への対応も3年を越えたところですが、国の方針により感染症法に基づく2類感染症から5類感染症に変更となるなど、社会生活は徐々に日常を取り戻す方向に動いております。看護職においては、引き続き、基本的感染症対策を継続しつつ、クラスター発生の防止に努めることが必要と思われます。皆様には、看護人材の確保が厳しい中、長きにわたりご対応いただいていることに、改めて心より敬意と感謝を申し上げます。

本年度の当協会は、少子超高齢多死社会が加速する中で、神奈川の看護を支えるための、看護協会の在り方について取りまとめた「公益社団法人神奈川県看護協会ビジョン2033～10年後のめざす姿～」の初年度として、多くの看護職に入会していただけるよう、これまで以上に看護職に寄り添い支える、開かれた看護協会を目指してまいります。

また、事業展開においては、看護職や県民が神奈川県看護協会に何を求めているのかを真摯に受け止め、期待に応えられるよう挑戦してまいります。

さらに、当協会は、公益社団法人として、看護職の人材確保と資質向上に貢献するとともに、神奈川県民の健康の保持増進に寄与するための公益事業を強化し、新たな課題に積極的かつ柔軟に取り組んでまいります。

令和5年度の通常総会は、従来の参集型に戻して開催するとともに、できるだけ多くの皆様に内容を閲覧していただけるように、ライブ映像をWeb配信いたします。

会員の皆様におかれましては、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

公益社団法人神奈川県看護協会 長野広敬